



農福連携 ガイド

障害福祉サービス事業所向け Ver.Ⅱ

のうぎょう しょうがい かた かつやく こと つう
農業で障害のある方が活躍する事を通じて

しょうがい ふくし じぎょうしょ はたら ば かくほ
障害福祉サービス事業所の働く場を確保し、

たが れんたいかん たか じしん い も
お互いが連帯感を高め、自信や生きがいを持って

たずさ こと ぎょうせいしゃかい じつげん め ざ
携わる事で、共生社会の実現を目指しています。

ほん やまぐちけん のう ふく れん けい と く ないよう
本ガイドでは山口県の農福連携の取り組み内容
しょうかい
を紹介します。



1

内職型

事業所内で農家から依頼された作業を行います。

仕事内容

- ・野菜の袋詰め及び出荷調整
(オクラ、きゅうり、はなっこりー、茄子、大根、春菊等)
- ・野菜や加工品のラベル張り
- ・ニンニクの皮むき
- ・種まき

等

メリット

- ・慣れた環境(場所・人)で作業ができる
- ・空いている時間を利用して作業ができる

種まき



ニンニクの皮むき



はなっこりーの調整



オクラの袋詰め

3

委託型

[年間契約]

農家と年間契約を結び、依頼された作業を行います。

仕事内容

- ・野菜(苗植え、収穫、出荷など)
- ・きくらげの水やり、収穫
- ・草刈り

等

メリット

- ・年間を通して作業があるので予定が立てやすい
- ・安定した収入が見込める
- ・地域の方々との交流がもてる

きくらげの水やり



キャベツの収穫



玉ねぎの収穫



2

委託型

[スポット]

農家の繁忙期に、依頼された作業をスポットで行います。

仕事内容

- ・花苗の植付
- ・梨の袋掛け
- ・野菜の収穫
- ・草刈り
- ・堆肥まき 等

メリット

- ・他の仕事に比べると単価が高い傾向にある
- ・空き時間に作業を入れる事ができる



花苗の植付



梨の袋掛け



草刈り



堆肥まき

4

農業完結型

[種まき・栽培管理・収穫・出荷調整・販売等]

事業所自らが、作物の栽培から出荷まで行います。栽培した作物を加工し、6次産業に取り組む事業所もあります。

仕事内容

- ・水稻栽培
- ・季節野菜や花の栽培(ビニールハウス内や露地)
- ・地域の販売所への出荷 等

メリット

- ・自分達のペースで仕事ができる
- ・自然の中での作業はストレス発散や精神安定につながる
- ・障害特性に合わせて作業を切り分ける事が出来る

出荷調整



水稻栽培



オクラの収穫

1-1 内職型

事業所内で農家から依頼された作業を行います。

農 業 者：株式会社 あぐりてらす阿知須

事 業 所：有限会社 てご屋 てご屋自立支援センター（宇部市）

（事業所内の他の仕事紹介）・部品の検品・ゴム掛け・チラシ折り・ポスティング・さき織り・フェルト作品
（他の仕事紹介）・除草作業（企業、個人宅）

1 仕事内容

野菜袋へのシール貼り作業（作業回数：不定期・事業所にて引き取り納品）

その他：里芋の収穫

2 作業時間・人数

・時間：3時間（午後） ・利用者：4名・職員1名

3 取り組みのきっかけ

山口県社会就労事業振興センターからのアンケートがきっかけです。（株）あぐりてらす阿知須の見学会に参加体験をさせて頂き、作業をする事になった。

4 利用者の声

「がんばります」「楽しいです」「暑い・寒いが大変です」

5 職員の声

ふだん外作業や他の作業に関わっていない利用者が作業に関わる事ができるようになり、出来る仕事が増えているので良かったと思う。

6 今後の課題

・夏の暑さ対策 ・冬の防寒対策 ・現場への移動

シール貼り



農 業 者：のうの農園

事 業 所：合同会社ライクユー 就労継続支援 B 型事業所ライクユー（防府市）

（事業所内の他の仕事紹介）・ポスティング作業 ・雑貨作業

1 仕事内容

玉ねぎの調整作業（作業回数：6月から11月のうち週4～5日程度・事業所にて引き取り納品）

2 作業時間・人数

・時間：2時間（午後） ・利用者：3～5名・職員1名

3 取り組みのきっかけ

防府市の農福連携マッチングによる仕事紹介。

4 利用者の声

数が多いと大変なこともあるけど、達成感がある。
最初は難しかったけれども、慣れてくると楽しい。

5 職員の声

経験の少ない利用者は、新しい作業をととても楽しみにしています。利用者自身が袋詰めした商品がスーパーや道の駅に並んでいるのを見ると、大きな達成感を感じているようです。

6 今後の課題

作業量を増していく予定。
屋外作業や、現地での作業にも挑戦していきたい。

玉ねぎの袋詰め



玉ねぎの皮むき



2-1 委託型 [スポット]

農家の繁忙期に、依頼された作業をスポットで行います。

農 業 者：長門地区個人農家

事 業 所：NPO 法人長門市手をつなぐ親の会 就労継続支援 B 型事業所 友愛センター（長門市）

（事業所内の）・菓子箱折り・木箱組立・食品用シール貼り付け
（他の仕事紹介）・きくらげ栽培、販売・清掃作業（外苑、公園、駅）

1 仕事内容

長門ゆずきち収穫作業（作業時期：11月から12月のうち4～5日）

2 作業時間・人数

・時間：2時間（午後） ・利用者：7名・職員2名

3 取り組みのきっかけ

栗の収穫などの農福連携事業に取り組んでおり、山口県長門農林事務所よりゆずきちの収穫作業の依頼を受け、現地確認及び実際に利用者の体験を経て取り組み開始となる。

4 利用者の声

たくさんあるので収穫するのが大変ですが、作業は楽しくできています。
背丈より高い所になっているものは取るのが大変です。トゲに気を付けながら収穫している。

5 職員の声

以前から農福連携に取り組んでおり、作業内容は当事業所でも引き受け可能と判断した。
トゲや立地状況など安全面での心配はあったが、現地確認や、実際に利用者が体験することで不安は解消出来た。現在、利用者も無理なく取り組んでいるように感じている。

6 今後の課題

利用者の平均年齢が年々高くなり
現在請けている作業がいつまで継続できるかという不安はある。
しかし、就労継続B型事業所として就労機会の提供をしていかなければいけないので、
利用者が日々充実して通所し、多くの工賃を支払えるようにしていきたい。



ゆずきち収穫作業



3-1 委託型 [年間契約]

農家と年間契約を結び、依頼された作業を行います。

農業者：農事組合法人 YONESATA

事業所：特定非営利活動法人キセキ みなくるはうす柳井（柳井市）

（事業所内の）・便利屋 ・清掃（トイレ清掃、ホテル清掃） ・箱折り ・チラシ封入
（他の仕事紹介）・みかん加工 ・フライドチキン粉封入 ・物づくり（キーホルダー、はがき）
・フリーマーケット ・ペットボトルフタリサイクル作業

1 仕事内容

トマトの収穫作業・袋詰め作業（作業回数：週2日程度）

2 作業時間・人数

・時間：3時間（午前） ・利用者：6名・職員2名

3 取り組みのきっかけ

施設での作業が時期によって不足することがあるが、その折に農業の現地見学会があり参加した。その後、数回の作業体験を経て、作業日程が定期的かつ通年であることから、実施する方向で話を進めた。

見学会から約1ヵ月後に見積を提示し作業開始となる。

①現地見学 ⇒ ②作業体験 ⇒ 作業内容・作業日数の確認 ⇒ 見積提示

4 利用者の声

「収穫作業が楽しい」「暑くて大変」「足場が悪いので移動が疲れる」

5 職員の声

自信がつき常日頃の声量が大きくなった方もいる。

持ち帰りの作業（トマト袋詰め）もあり、作業項目が増え忙しい日が多くなった。利用者の方に支払う工賃額も比例して増えている。

外での作業を通じてやりがいを感じて、楽しみにされている方もいる。

6 今後の課題

農家側と相談しながら作業しているので、このまま継続したい。



トマトの収穫



収穫したトマト



トマトの仕分け



トマトの袋詰め

農業用治具

農福連携に取り組んでいる事業所が、生産性の向上と安全に作業するために工夫された道具の一例です。

1 生キクラゲの調整作業

キクラゲのいしづきをカットするためにパン生地をカットする道具（スケッパー）を利用している。



写真提供事業所：インクルー・ジョブ

2 パックへのシール貼り作業

白い紐は平ゴムで伸縮性があるので、パックが入れやすく、固定も出来る。
治具の下方に透明のクリップを付けてパックを挟み固定し、シールを貼っていく。



写真提供事業所：インクルー・ジョブ

3 苗を植えつけるための穴開け作業

マルチシートの上から、玉ねぎの苗を植えるための、穴を開けていく。
1列に10個先の尖った長さ6cmの木製の物が付いているのが
5列有り一度に合計50個の穴を開けることが出来る。事業所では「ごくもん」と呼んでいる。



写真提供事業所：夢かれん

Q & A

Q

農業未経験でも大丈夫ですか？

A：大丈夫です。農業者から教えて頂きながら作業を実施します。事業所が可能な作業内容から始める事が出来ます。

Q

器具などの用意は必要ですか？

A：軍手、長靴、帽子等の準備は必要です。
作業道具については農業者側との相談になります。

Q

作業時間や作業単価の決め方は？

A：農業者との相談になります。様々な事例がありますので、山口県社会就労事業振興センターにお問い合わせください。

Q

休憩所（昼食等）やトイレは？

A：農業者との相談になります。休憩スペースやトイレを用意されている場合がありますが、無い場合は、公共施設のトイレをお借りしたり、事業所に戻ることもあります。

Q

農業者と繋がる手段や、農業を始めたい時に相談する機関はどこですか？

A：農福連携のマッチングサイト『あぐぷく』からの情報検索が可能です。



- やまぐち農業労働力確保推進協議会
☎ 083-973-2247(事務局:JA山口中央会)
- 山口県社会就労事業振興センター
☎ 083-933-1522

Q

農業をする場合、必要な資格はありますか？

A：基本的に必要な資格はありませんが、草刈作業等に刈払機を使用するため、安全の為に講習会等を受講することをおすすめします。

Q

農業をすることでのメリットは何ですか？

A：野外の広い場所で作業(身体を動かす)を行うので、ストレス発散や精神的な安定につながり、収穫の喜びを実感する事も出来ます。様々な体験をすることが刺激になり、本人のやる気にも繋がります。

写真提供協力事業所（表紙、1頁、2頁）

ワークショップ未来	(平生町)
インクルー・ジョブ	(周南市)
聴覚障害者生活支援センター こすもすの家	(周南市)
ふれんず	(防府市)
はあと	(防府市)
多機能型事業所 りワークス	(山口市)
緑豊舎	(宇部市)
障害福祉サービス事業所 グリーンファーム	(下関市)

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 山口県社会就労事業振興センター
〒753-0072 山口県山口市大手町9番6号
TEL 083-933-1522 FAX 083-933-1533

発行元

山口県健康福祉部障害者支援課
山口県山口市滝町1番1号(山口県庁5階)
TEL 083-933-2765 FAX 083-933-2779

発行年月

2024年3月(初版)
2025年3月(第1回改訂)